



風にむかって大空に舞う

上曾きのこやま山頂にある基地から、赤青黄、色とりどりのパラグライダーが飛び立っています。特に休日などはその数が多く、地元住民や通りがかりの人の目を楽ませています。

パラグライダー愛好者は現在500人で、東京、千葉、埼玉など都市生活者の方が多いそうです。ここは首都圏から約1時間、しかも、年間を通して温暖な気候に恵まれているため、飛行条件は絶好。普通に走れば誰にでも飛べるという手軽さから、今後、高齢者や女性を中心に愛好者が増えるものと思われます。



寒 蘭

◇町の人口(1月1日現在) 男14,976人 女15,303人 計30,279人(前月比+16) 世帯数7,368世帯(前月比+10)

自然の厳しさが優しくなる町



小林邸のベランダで

八郷に移り住んで五年になるという画家の小林恒吉さんご夫妻と町長に就任して三年目を迎える桜井町長が「町の魅力・特色とこれからのまちづくり」について話し合いを行いました。場所は、静かでおだやかな山荘風の小林邸。約二時間の話し合いは、町政・芸術文化・自然などさまざまな方面にわたり、終始なごやかに続けられました。

小林さんは日本画の大家で、主に花鳥、風景を描き、奥さんの碓杏子さん（ペンネーム）は詩人として活躍されています。清流を求める魚のように恋瀬川をさかのぼって河口の高浜から源流域の八郷町太田に移ってきたというご夫妻、長年住みなれている私たちには気づかない「町の魅力・特色」を存分に出していただきました。

町長 新年あけましておめでとうございます。本日は、太田の一番高いところに位置しており、八郷全体を眺望できる風光明媚な小林邸にお邪魔いたしました。日本画家の小林さんと詩人として活躍の碓さんともどもお話しする機会を得ましたこと、本当に光栄に存じます。

私も町民の多くの皆さんからご支持をいただき十代目の八郷町長に就任して早や二年が過ぎようとしています。この間、「町の恵まれた自然を生かし町民の方々が

豊かでうるおいと安らぎを感じ、幸せを実感できる町づくり」をめざし、さまざまな事業に取り組んでまいりました。

特に、この緑豊かな素晴らしい自然景観を保全すると同時にまちづくりを一体的・総合的に整備開発するため、昨年の九月一日から、国有林と保安林の一部を除く町の全域が「都市計画区域」に指定され、計画的なまちづくりを一歩進めることができました。

また、兼業化、高齢化、担い手不足など農業事情が深刻化してい

く中、昨年は長年の念願であった「八郷のナシ」が果の銘柄産地に指定され、地域活性化の原動力になるものと大きな期待を寄せています。

いま、任期の半分を経過した訳ですが、これからの残された期間「住民本意のまちづくり」を念頭に、最善の努力を傾注していきたいと思っておりますので協力のほどよろしく願っています。

あいさつはこれくらいに致しまして、小林さんが八郷に住まれている感想をまずお聞かせ願います。

小林 私は清流を求める魚のように恋瀬川をさかのぼって、河口の高浜から源流域の有明の沢辺に移り、はやくも六年近くになります。これまで、山を中心に四季折りの折り移りゆく八郷の自然を写生するため、いろいろなところを歩いて回りました。

たましいが安らぐ暮らし

碓 春先になると、辛夷や雪柳そして山桜など山の木々が一斉に芽を吹き出し、咲き競います。やぶからはワラビたちがそろって顔をのぞかせます。

八郷に住んでみて、春先、そのような光景を目の当りにする時、山全体が、わが奥庭のようになり、たましいが安らぐのを覚えます。私は、よそに出かけて家に帰る途中、バスから降りて歩いてくる訳ですが、道すがら、草木の息吹や小鳥たちのさえずりなど、自然と接する時、とても気持ちが休まります。このようなせいたくがほかにあるだろうか、とも思います。この太田の地に、わが家建てさせていただいたこと、ほんとうに感謝しております。

町長 霞ヶ浦の水辺高浜から山ふところの八郷に移って来られた感想をお聞きました、私も町の魅力は、やはりこの恵まれた自

八郷は、筑波山を頂点に、三方を足尾山、加波山、吾国山、難台山などの山々に囲まれ、自然に恵まれた実に緑豊かなところ。そのような自然条件のため、南傾斜地が多く、そこに微妙なかけりが出ます。京都のような落ちつきのあるたたずまいが感じられます。

然環境にあると思います。祖先から受け継いだ郷土のかけがえのない自然を、さらに豊かに守り育てることこそ、私の使命とも考えています。

小林 首都圏から七十*圏内に位置していて、のどかで落ちつきのあるこのような場所は、どんなにも知らない。土浦やつくば学園都市周辺に住んでいて、八郷のよさを分かっている方は、土地の当てがつけば住んでみたいようです。

車の時代、高速道路を利用すれば、八郷は東京から一時間ちよつとで来られます。そのようなすぐ近くに、自然がこわされないで残っている、ほんとうに貴重なところ。です。

碓 八郷で生まれ、育ったみなさんは心やさしい人ばかり。とりわけ、娘さんやお嫁さんは氣立てがよく、純朴で、荒れたところがありません。結婚するなら、八郷の方に限るんじゃないでしょうか。これも山々に囲まれ、自然の恵みを受けて、おだやかに過ごしてきたお陰でしょう。

小林 地元の方からの話を聞いてみると、みなさんほとんど他人ではなく、なかで血筋がつながっている気がします。先程の話とは裏腹に排他的で閉鎖的な面もありますが、私どもみたいにいったん溶け込んでしまうと、家族的で、開けっ広げのおつきあいをしてい

ただけるよい面も感じられます。

町長 朝に夕に、そしてうれしい時も悲しい時も、山々を眺め、自然のおおらかに包みこまれるような生活を私たちは送ってきました。勿論、この豊かな自然環境を守り育てていくことも大切ですが、同時に、町民のみなさんの所得の向上と生活の利便性も考えなくてはなりません。

いま、町民のほとんどが兼業農家です。公害のない優良企業を誘致して町内に就業場所を確保したり、道路網を整備して通勤などに

特産品に薬膳の開発を

小林 かなり前からこの土地を訪れていて、いずれは住んでみたいと長年思いつづけ、やっと実現しました。八郷は四季を通じて非常にやさしいところ。ここでは、

風がふいても柔らかく、優しくなっています。高浜に長く暮らしていたせいか、恋瀬川を逆のぼってこの地にたどり着くと、厳しい気

候風土が優しくなってしまうこと、実によく分かります。

碓 気候が温暖で優しいせいか、ここではほとんどの果物ができるそうですね。場所によってはミカンでもリンゴでも。うちの庭にも実のなる木を全部植えて実らせてみたいと思っています。

以前、NHKの「小さな旅」で



ギター発祥の地スペインを思わせるギター文化館

八郷を放映したことがあり、その中で町の特産品の一つとして葉草が紹介されましたね。

その葉草を使って葉膳を作ってみてはどうでしょう。都会などほかから訪れてきた方に喜ばれると思いますよ。

葉草を栽培したり、葉膳を作ったりすることは、高齢者の方でもできますので、働き場所の確保につながります。

小林 葉膳の料理研究などしてみるのも面白いかもしれません。

農作物で上等なよい品を作り、全国の特産物に追いつくには骨が折れます。町長さんのおっしゃる付加価値のつく農業、葉草の栽培に加えて、葉膳の開発普及も、検討してみる価値はあるでしょう。

町長 葉膳など、私どもでは思い及ばぬアイデアです。今後機会を設けて、検討してみたいと存じます。八郷は一町七カ村が合併してできた町ですので、面積も広いし、それぞれに地域特性が違います。ここは開発地域、そこは農業地域、あちらは商業地域といった具合に。町全体が自然景観をバックにうまくマッチして発展することが望ましい姿です。



小林 気候的には、やさしく温暖ですが、町全体の営みをみると非常に変化に富んでいます。一口に農業といっても、人によって栽培している作物はさまざま。葉膳は一例としても、プラスチックファのつけられる経営、余地はいくらでもあると思いますよ。

碓 土地土地の特色を生かせば、文化的なものでも商品価値がついてしまいます。一つの柱ができる、なんでも集約されて、評価が上がつてしまう傾向があります。

町長 町には観光基地として、世界のバラ五百品種三万株、熱帯花木三千本の温室で知られる、花と緑の楽園「県フラワーパーク」

があり、年間約四十万人の観光客でにぎわっています。

さらに、いま、友部町にある県畜産試験場を町の根小屋地区に誘致する計画を進めています。乳牛・和牛を基盤とする試験場本体をはじめ、乗馬などのふれあい施設も

不便な生活は最もぜいたく

要望しています。面積は百二十ヘクタール。完成した時には、石岡から試験場を経てフラワーパークまでを幹線道路として通せるよう県当局と協議中です。加えて排水が流れ込む恋瀬川の改修も県にご協力いただけるものと期待しております。

碓 世界の名高いギターがずらりと並ぶ展示室と優れた音響効果の音楽ホールを備えた「ギター文化館」が、ことし三月、柴間にオープンするそうです。国際ギター文化協会により建設された同館は、全体がギターの形にデザインされ、ギターの本場スペインを思わせるドームからギターの音色が聞こえてきそうな印象を受けます。その台地は広大で北海道の富良野を連想させ、遠くを眺望すると地球が丸く見えます。八郷百景にぜひ入りたいところですね。

町長 その台地でも葉草の栽培をしています。おっしゃるように眺めはほんとうにすばらしい。

小林 ただ、道路がよく整備されているので開発が心配。貴重な自然を保ち、風景が死なないよう工夫してほしいものです。道路が整備され便利になると、生産活動を高めるため乱開発が横行します。私どもはここで、自然の中にな



朝もやに包まれた八郷盆地はまるで牛乳ぶろ

がものを大切にすることを忘れさせ、使い捨ての風潮を生み出し、その結果、ゴミが量産され処分に四苦八苦。お話を聞いてみると、これから行政を進めていく上でも、時には「逆もまた真なり」といった逆転の発想の必要性を感じます。

小林 都会で生活している友人に会うと、ぜひ八郷へ遊びにいらっし

やいと言いたくなります。慌ただしい都会に身を置く人にとって、ここでの生活は、何もかも新鮮でとても素敵に映るようです。

特に、八郷盆地にふりそそぐ日射しは、おだやかで優しさがありません。その光が写し出す周りの風景は飾り気がなく素朴で、あるがまま、素直に私どもの目に飛びこんでくるのです。

朝もやの八郷は牛乳ぶろ

小林 朝もやのかかった町を眺めるには冬が一番です。ここは高いところに位置しているため眺望は最高。まるで牛乳ぶろにでも入っている気分になります。冬の寒さなぞつい忘れて、絶景に見とれて立ち尽くしてしまいます。そのような冬のあと、食べるものの豊富な春がやって来ます。春夏秋冬飽きることなく暮らせます。

碓 「バスから降りて自宅まで山路を二、三歩く不便さはどうですか」と知人に聞かれると、私は「不便さこそがわが家の売りもの、自慢の一つよ」とこたえます。

小林 人間、歩いている時は、健康なことを考えるものです。

町長 いまは、農業など機械化が進み、トラクターに乗ったま



景は飾り気がなく素朴で、あるがまま、素直に私どもの目に飛びこんでくるのです。

町長 八郷がNHKテレビ「小さな旅」で紹介された時、はじめに画面に写し出されたのは朝もやのかかった町の全景でした。

まで一日の仕事が終わることもありません。ほんとうに歩くことをはじめ体を動かす機会が減りました。いまのように便利な時代に育った若い世代は、文明の利器を錯覚して使っているかもしれません。碓 ここに遊びに来られて、自然環境のよさには驚かれますが、ずっと暮らしていく自信はないという方がおります。主人は画家で

私も詩を書いたり染色をしたりしている関係上、職業的にもこの暮らしが性に合っているのです。

私どもはこの地を終の住みかとして決めています。

小林 そういえば最近、若い陶芸家や彫刻家そして作家など芸術家のかたがたが八郷に住んでいるようです。私の知り合いは町外の方がほとんどで、町内のそういったかたがたには面識ないんです。

新しく八郷に入ってきて、芸術文化活動をしている人たちの横の連絡、ネットワークづくりも必要だと思えます。情報交換もさることながら、町の文化行政の向上にもつながる訳ですから。恵まれた自然環境の中で、さまざまなジャンルの芸術文化を味わえる。そのような町づくりも楽しみの一つでしょう。

町長 町民のみなさんが誇りを持って、自由に芸術文化活動や情報交換をし、一流の芸術鑑賞ができる「文化センター」みたいなものがあればいいでしょうけれど、碓 町でも生涯学習推進の意味から、公民館講座などを開いて、芸術文化に力を入れておりますが、もっと自由で自発的な活動の場が持てればもっとよくなります。



〈プロフィール〉 碓 杏子 (本名 小林志津江)さん。1936年生まれ。詩人、小林恒吉氏夫人。処女詩集「終わりのない絵本」で評判になり、'90年発行の4冊目詩集「愛の香辛料」で茨城文学賞を受賞。

若者が好きになる町づくり

町長 最後に、町政への意見、ご提言などをお聞かせ願います。

小林 八郷はつくば学園都市の奥座敷としてこの豊かな自然をいっまでも保持していただきたい。

同時に学者や文化人などいろいろな人が入ってきているので横の関係を作って力を出せる機会が持てれば必ず町づくりにプラスになると思います。

また、薬草の栽培と合わせて研究を重ね、薬膳を実現してみたいかがでしょう。専門学校みたいな、薬膳料理研究所でも作るとかして。町の中でまだ眠っている素材を引き出す努力、それが町の活性化につながります。

碓 私どもは個人的な生き方ですが、行政は町民すべての人たちがいいようにしなければなりませんの

で、自然保護と開発など調整がむずかしいでしょう。多様な価値観を持つ人たちが住んでいる訳ですから、どんな生き方をしたいか、選択できるプログラムを作って、それぞれの頭を少し混乱させてみる。そうすると眠っている要素が光り輝くかもしれません。

芸術文化の振興などは、行政が全部賄うのではなく民意を盛り上げて、運営を民間に預けてしまうようではないと長続きしません。気運を盛り上げることが先決です。

町長 物質優先から心の豊かさを求める時代になったいま、恵まれた自然を守り育てていくことも、ある意味では攻めの行政といえるかもしれません。一方、道路網を整備し、便利な町をつくることも、私どもの使命です。不便さがよりよりのせいたくといわれるご夫妻の生き方は、私自身にとってもいい勉強になりました。いったんは都会へ出ていった若者が、八郷の地へ必ず戻ってくるような魅力ある町づくりに全力をあげて取り組みたいと存じます。

を実感できる町に

一般会計

歳入 **89億3,260万円** 歳出 **83億9,395万円**

一般会計

平成3年度の一般会計決算額は、歳入合計が89億3,260万円(対前年比6億6,701万円増)、歳出合計が83億9,395万円(同比9億8,970万円増)となりました。このうち繰越明許にともなう平成4年度へ繰り越すべき一般財源、241万円を差し引いた実質収支は、5億3,624万円となりました。

歳入の状況

歳入のトップは、国が一定の基準により地方公共団体に交付する地方交付税で31億3,172万円。歳入全体の35・1%を占めました。次いでみなさんから納めていただいた町民税や固定資産税などの町税が18億2,754万円でした。前年比は188万円増となり、ほぼ横ばい。以下、財産収入・繰越金・繰入金などが17億6,553万円(対前年比20・8%増)、特定の事務・事業を行うとき国県から補助を受ける国県支出金は10億4,460万円(同比2・8%減)、国税として徴収され、そのまま町に与えられる地方譲与税などが6億3,526万円(同比5・5%増)と続きます。

町が特定の事業を行うときに必要な財源を調達するための地方債

は、5億2,795万円(同比5・4%増)となりました。

歳出の状況

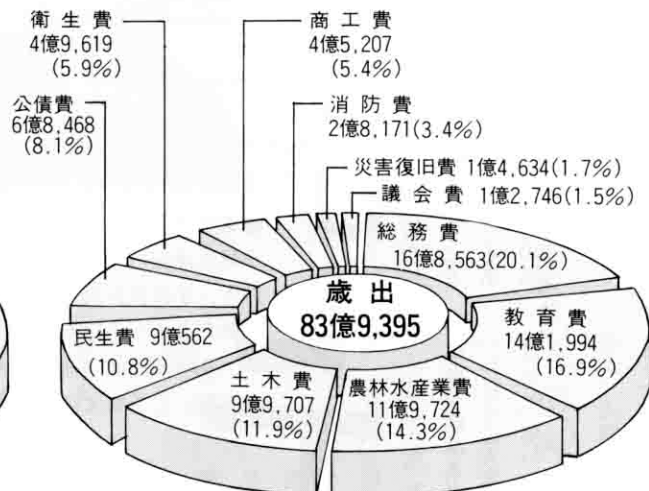
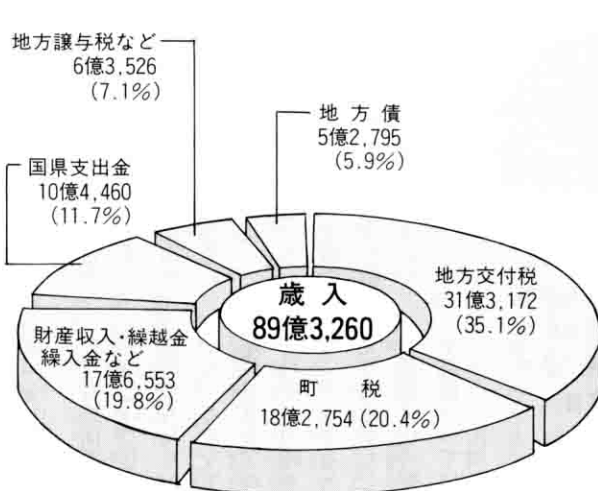
歳出での第一位は総務費で16億8,563万円(対前年比6・9%増)となり、歳出全体の20・1%を占めました。第二位は2年度に引き続き園部中学校校舎改築事業などが含まれている教育費の14億1,994万円(同比15・5%増)。続いて近代的な農林業の育成に使われた農林水産業費が11億9,724万円(同比3・8%増)の順になりました。

土木費は、やはり2年度に引き続き地域改善事業や住宅地関連公共施設整備事業などに9億9,707万円(同比8・9%増)ののり

ました。また、商工費は、スポーツスライドやフラワースイクルなどのふれあいの森整備事業費が大幅アップしたため、4億5,207万円(同比87・7%増)となりました。民生費9億5,622万円と衛生費4億9,619万円は前年比15%前後の伸びに。災害復旧費は、台風の影響が著しく1億4,634万円にのりました。

一般会計決算の内訳

(単位：万円)



繰越明許費 **241万円**
 実質収支額 **5億3,624万円**

平成3年度 決算報告

豊かで幸せ

平成3年度の町の決算が昨年12月の議会で認定されました。一般会計と特別会計を合わせた当初予算総額111億8,086万円に対して、それぞれ補正予算を組み、経費の適正化をはかるとともに、暮らしやすい町づくりをめざして、さまざまな事業を実施してきました。今後とも健全な財政運営をはかり、積極的に事業を進めます。

特別会計

(万円)

	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業	19億7,036	17億6,743	2億293
老人保健事業	14億2,718	14億2,182	536
八郷町農業集落排水事業	3億8,782	3億8,728	54
フラワーヒル汚水処理施設管理事業	3,807	3,173	634

水道事業企業会計

(万円)

	収入	支出	差引
収益的収支	4億3,024	4億4,615	△1,591
資本的収支	4億2,239	4億4,210	△1,971

町債・企業債残高(平成4年3月末現在)

一般会計	48億1,534万円
水道事業企業会計	31億7,440万円

特別会計

一般会計のほか、町には国民健康保険事業、老人保健事業、八郷町農業集落排水事業、フラワーヒル汚水処理施設管理事業の4つの特別会計と水道事業の企業会計があります。平成3年度水道事業企業会計の決算については、昨年9月の町議会定例会で認定されましたが、ほかの特別会計4つは、12月の町議会定例会で認定されました。それぞれの特別会計・企業会計の決算額は表のとおりです。

国民健康保険事業の収支額2億293万円は、これからの医療費の伸びも考慮して翌年度へ繰り越すことになりました。老人保健事業の収支額536万円は、町へ返戻するため、繰り出しました。平成3年度からスタートした農業集落排水事業は、東成井地区及び東成井第2地区において管路工事、汚水処理場の用地購入をしており、収支額54万円は翌年度に繰り越されます。

フラワーヒル柿岡団地内汚水処理施設管理事業は、管理面での修理はなく、収支額634万円は同じく翌年度へ繰り越し。

水道事業企業会計は、使用料を徴収し、事業運営を行う収益的収支が1,591万円の赤字。固定資産や原価償却による資本的収支も、1,971万円の赤字となりました。なお平成4年3月末現在の町債と水道事業の企業債は表のとおりです。

1 産業の振興(主な事業内容と事業費)

▷ 構造政策推進モデル集落整備事業	4,300万円
▷ 農業経営近代化施設等整備事業	4,200万円
▷ 団体営農道整備および県単農道整備事業	7,837万円
▷ 農林業同和対策事業	2,869万円
▷ 県単土地改良事業	3,297万円
▷ 自然休養村センター改修工事	2,035万円
▷ 山村林業構造改善事業(しいたけ集出荷販売施設補助・集会施設建設補助・林道開設等)	6,929万円
▷ 林道開設および維持事業	4,569万円
▷ 水田農業確立対策事業(転作助成等)	3,794万円
▷ ふれあいの森整備事業	2億7,487万円
▷ 観光振興への補助金等	536万円
▷ 商工振興への補助金等	947万円
▷ 国民宿舎管理運営委託料	2,000万円
▷ フラワーパーク管理運営等委託料	2,890万円
▷ 農業用施設災害復旧工事	5,797万円



ふれあいの森フラワーサイクル

ふれあいの森建設

2 教育文化の向上（主な事業内容と事業費）

▷ふるさと創生人材育成事業	207万円
▷幼稚園入園保護者助成・就園奨励費補助	1,355万円
▷小・中学校施設整備（園部中学校改築工事等）	3億8,150万円
▷小・中学校管理費（修繕等）	2,491万円
▷社会教育の振興（家庭教育、婦人教育、成人教育、文化財の保護顕彰、文化芸術の振興等）	7,259万円
▷公民館活動の推進（公民館講座等の開設、地区公民館事業の推進、フラワーロードづくり等）	6,001万円
▷弓道場建設	4,198万円
▷スポーツ・レクリエーション活動の振興	691万円
▷学校給食費（備品購入費、材料代、給食配送委託等）	1億7,325万円



フラワーロードづくり

生涯学習めざして

3 対話・環境の充実（主な事業内容と事業費）

▷広報紙の発行	704万円
▷コミュニティ助成事業（遊具施設設置）	250万円
▷交通安全対策事業	234万円
▷道路維持・補修事業	2,113万円
▷道路新設改良事業（飯塚・山崎線、神影・行在所線、柿岡小学校通学道路、その他一般道）	8億1,634万円
▷町消防団維持・施設整備	6,894万円
▷新治地方広域事務組合消防負担金	2億1,718万円
▷新治地方広域事務組合焼却場負担金	1億679万円
▷合併処理浄化槽設置整備事業補助	741万円
▷公害対策費	213万円
▷公共土木施設災害復旧工事	4,622万円
▷水道事業会計補助金	1億4,592万円



柿岡小学校線舗装工事

道路網の改良整備

4 福祉・健康の確立（主な事業内容と事業費）

▷新治地方広域老人センター負担金	1,482万円
▷老人福祉対策事業（敬老会補助、敬老祝金、各種老人クラブ助成）	1,561万円
▷要援護老人福祉対策事業（家庭奉仕員派遣含）	675万円
▷地域改善対策事業	1,228万円
▷児童手当支給	3,577万円
▷保育所費	4億1,804万円
▷老人保健事業（成人病検診・予防相談等）	2,525万円
▷結核・肺がん検診事業	4,797万円
▷各種検診委託料（循環器・胃ガン・その他検診等）	2,292万円
▷健康づくり推進事業	127万円



クロケット大会

人生80年を健康に

だれでも学習できる環境を

八郷町生涯学習推進本部設置委員会が昨年十二月三日、中央公民館で開かれました。設置委員会に先立って、本部長の町長から委員三十四名に委嘱状が伝達されました。委員会のメンバーは、関係行政機関、教育機関、関係諸団体の代表及び学識経験者などです。

「生涯学習」とは、いままでの教育上の概念とは違い、教育者、被教育者といった特定の関係は持たないで、それぞれが自発的意志に基づいて必要に応じ、自分に適した手段、方法を選んで生涯にわたる学習です。

「生涯学習」が必要になった背景には、技術革新、週休二日制に伴う余暇時間の増大、高齢者の増加、高額所得化、学校週五日制など急激に社会生活が変わったことがあります。いままで学校教育にのみ任せておいた方法では不十分な時代になりました。こうした状況が、現代生活に対応するためだれもが学習しやすい環境づくりをしなければならなくなったのです。そこで町では今回、「いつでも、どこでも、だれでも」学習に参加できる体制を整備するため、生涯学習推進本部を発足させました。平成四年度のこれまでの経過と今後の計画は、次のとおりです。

町武道大会

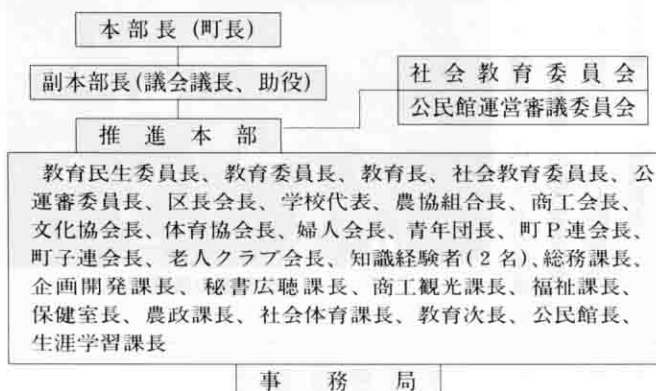


平成四年七月「生涯学習」とは……と題して広報やささと内容を紹介します。

同年八月 学校五日制を周知

同年九月 生涯学習推進体制整備準備会を開催。一方、座談会「学校五日制をどう生かすか」を行い、内容を広報やさ

八郷町生涯学習推進本部組織機構



と特集記事で紹介。

同年十二月 生涯学習推進本部を発足。

平成五年一月 生涯学習に関する実態調査。

同年二月 生涯学習推進委員会。

同年三月 先進地視察。生涯学習のつどいを開催し、「生涯学習社会をめざして……」と題しての講演

会を予定。

生涯学習推進本部設置委員会のあと、「生涯学習の意義と今後の取り組みについて」と題して講演会がありました。講師は国立教育会館つくば分館長の大貫力さん。講演会の概要を次に紹介します。

「教育の課題はさまざまあります。まず、学力観をどうとらえるか。目に見えやすい学力は知識であり、数値で表わすことができます。見えにくい学力とは行動力。数値判断は困難ですが、生涯学習上は学校、家庭教育を離れて評価するものがあり、これから重要なポイントです。

いま、なぜ生涯学習なのか。その必要性として、①所得水準の向上 ②高学歴化、③高齢化、④科学技術の高度化、情報化、国際化、などがあげられ

ます。次に、生涯学習推進ですが、まず、今回のように委員会、推進委員など推進体制をつくること。さらに、町の広報紙などを活用して推進情報を町民全体に知らせ、理解を求めるとともに、個々人の学習参加への意欲をもたせることです。

各分野のリーダーは、柔軟な発想により地域づくりと生涯学習をマッチさせ、八郷町ならではの推進システムを作っていただきたいのです。具体的には、学習のテーマを選んだり、各種のメニューを作成したりして選択援助システムを整えたりとか、学習や活動の成果が測定できる評価システムの導入などのきめ細かな学習活動の展開が望まれます。



12月定例議会

一般会計 8千4百万円を増額

平成4年第4回町議会定例会が、12月15日から22日までの15日間の会期で開かれました。平成4年度一般会計補正予算、町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について、工事請負契約の締結など議案12件が上程され、いずれも原案通り可決されました。

ほかに、平成3年度各会計歳入歳出決算の認定(別掲)1件、陳情3件、意見書1件などが提案され、いずれも原案通り可決されました。

一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ8,401万8千円を補正増して、予算総額84億5,643万円となりました。歳入の主なもの、芦穂小学校校舎改築事業補助金が3,044万5千円、石岡台地営農対策モデル事業補助金が695万円、山村林業構造改善事業補助金が784万7千円、前年度繰越金が3,007万3千円などの補正増です。歳出は芦穂小学校校舎改築事業に伴う教育用器具の購入などの教育費が2,894万8千円、水利用型営農施設設置事業補助金などの園芸振興費が1,390万

円、木材集出荷販売施設整備事業補助金などの林業費が926万3千円など、それぞれ補正増となりました。

町職員の給与に関する条例の一部改正は、昨年八月に出された人事院勧告にもとづき、国家公務員の給与の改定がされるのに伴い、町職員の給与を国家公務員に準じるため、行われました。概要は、国に準じて給料表を全面的に改正することと諸手当の改正です。

工事請負契約の締結2件は次のとおりです。

◎小幡・小見線(広域農道)道路整備事業14-1号舗装整備工事
契約金額 4,171万5千円
契約の相手方 白田組土木(株)
内容 表層工延長2,511m
幅員 7・5m

◎小幡・小見線(広域農道)道路整備事業14-4号舗装整備工事
契約金額 3,821万3千円
契約の相手方 柳峯工務店
内容 表層工延長2,040m
幅員 7・5m

また、平成5年の議会議長、副議長、常任委員会そして議会運営



本会議の議案審議

委員会の構成は、次のとおり決まりました。(委員会の◎は委員長、○は副委員長、いずれも敬称略)

〔議会議長〕 小松崎長太
〔議会副議長〕 関 忠治
〔総務委員会〕

◎上田孝之 ○塚谷和幸 山田保 小松崎長太 島田重郎 吉川勇 嶋田佐登子

〔教育民生委員会〕
◎入江貞一 ○鬼沢 隆 大久保芳太郎 関 忠治 伊藤昌次郎 大場俊之

〔産業土木委員会〕
◎矢口喜七 ○鈴木光雄 川井伸夫 鈴木米造 中村茂夫 川又紀征 岡崎勝巳
〔議会運営委員会〕
◎大久保芳太郎 ○川井伸夫 山田 保 小松崎長太 関 忠治 矢口喜七 上田孝之 入江貞一

町長の日記帳から



十二月の主な動向はつぎのとおりです。

三日(木)生涯学習推進本部設置委員会
四日(金)新任民生委員辞令伝達式
六日(日)PTA研究協議会、第
十一回少年剣道大会
七日(月)吟詠会秋季研修会
八日(火)消防団役員会
九日(水)退職校長会総会
十一日(金)長堀地区懇談会
十四日(月)老人大学卒業式
十五日(火)二十二日(火)第四回町議会定例会

生涯学習を必要とする社会的背景としては、私たちが生きていく現代社会が成熟化の段階に入りつつあるということです。その要因として、①所得水準の向上 ②自由時間の増大 ③高齢化の進行 以上の三点が考えられます。

生涯学習の担い手は、いずれにしても中・高齢層となりますが、その人たちが職業的特技や優れた知識経験を社会に還元すると同時に、郷土の歴史や民俗にも通じ、国の歴史や個人のつながり、世界との関わりについて深い理解をもつことが大事です。これからの国際化時代、地域性をバックボーンとした特色ある人間を育てたいものです。

生涯学習の施策を幅広く

生涯学習の総合的、効果的な推進を図るため昨年末、町生涯

町立有明中学校

新しい年を迎え、寒さも一段と厳しくなる中、朝早く生徒全員が自転車に乗り、「おはよう」の元気な挨拶で登校してきます。

三年生にとつては残り少ない中学校生活、悔いのないように精一杯頑張っています。二年生は立志式を成功させようと合唱の練習に余念がありません。一年生は中学校生活にすっかり慣れ、新たな学年に向って希望に燃えています。

二期期には生徒会・実行委員会を中心となって、生徒が自主的に企画・運営を進めた有中祭（文化祭）がありました。合唱中心の有中祭は、保護者のかたがたも参観され、大変すばらしいとの評を得ました。生徒会は三年生から一・二年生に引き継がれ、その立会演説会では候補者全員が学校をよりよくしようと熱弁を振るいました。



同校（武川良雄校長）は昭和四十年に旧瓦会中学校と恋瀬中学校が合併統合し、昭和四十三年、新築校舎により初めての入学式を行

学力向上めざし 生き生きした活動



生徒会による有中祭のバザーの収益金は町社会福祉協議会へ寄付

いました。

「すこやかに、たくましく、豊かに」を生徒像に掲げ、全校一致して、学校の発展に取り組んでいます。今年度は町指定の研究校として「学力の向上を目指す指導法の研究」のテーマのもと、研修を進め、昨年十月に発表会を開催。町内からたくさんの方々が参加され、当日、同校生徒の生き生きとした活動を披露、実り多い研究会となりました。

また、PTA（岡本守三会長）

でも「PTAの活性化を図るにはどうしたらよいか」という研修テーマのもと、会員同士が話し合いと研修を重ね、諸行事の検討や改革を進めてきました。その成果を八月には新治地区PTA指導者研修会で、十二月には町研修会で発表しました。

今後とも学校・PTAそして地域の三者が連携を図りながら、生徒の健全な育成をめざして、意を新たにしていきます。

花と緑の楽園
茨城県 フラワーパーク

レストラン「ローズ」 がオープンしました



「春を呼ぶ草花まつり」

「花と緑の楽園」茨城県フラワーパークは、花とふれあい、自然と親しむ憩いの場として、多くの皆様に親しまれています。このたび園内に待望のレストランがオープンしました。

入園ゲートをくぐると右手の高台に建てられたレストランは面積三百四十三・五平方メートル。客席数は一般席および団体席あわせて百八十席で、店内からはバラのテラスや筑波山が見渡せます。

これまで来園者の皆様に不便をおかけしていましたが、レストランの完成により、一日ゆっくり楽しんでいただけるようになりました。

なお、フラワーパークでは、二月七日から十四日まで、「春を呼ぶ草花まつり」を開催します。春の訪れを告げる草花、プリムラ、アザレア、パンジー、サイネリアなどを多数展示し、一足早い「春」を味わっていただきます。展示した草花は、十四日の午後一時三十分からオークションにより即売いたします。また、同日一時からは、春の草花の管理についての園芸教室も開催いたしますので、ふるってご参加ください。皆様の多数ご来園お待ちしております。

八郷町の文化財

⑥

800年の伝統を守りつづけて

真家みたま踊り

県指定 昭和三十三年三月十三日
国指定 昭和四十六年八月五日
所在地 八郷町大字真家

八百年の伝統を守るみたま踊りは、毎年盆の十五日に真家地区内の新仏の家を回り、仏の霊を慰める供養の踊りを続けています。



真言宗仁王山不動寺福寿院がこの地に移されました。当時の高僧は当地住民に御詠歌と踊りを普及させ、旧暦の盆に「御霊供養」のため老若男女が寺院に参集し夜を徹して踊ったのがはじまりといわれています。

元禄十五年（一七〇二）に赤穂義士の供養のために踊った記録もありましたが、明治四十四年の火災で一切の記録を消失してしまいました。しかし、人々の宗教心は強く、七十余名で保存会を結成し、地区内の新仏の家を回るようになったと思われまします。

毎年続いた踊りも、戦時中は一時中断。戦後復活に努め、昭和三十三年、県指定無形文化財に、同四十六年に国指定無形民俗文化財となりました。こうした先人や先輩保存会員の尊い宗教心と、苦勞や困難を克服してきた努力によって、八百年の伝統を守り通してきたのです。

みたま踊りは「くりこみ」という入場から始まります。

先導がちょうちんを持ち、まとい・みどし・虎の皮・とうしん・ぐんばい・さいまら・びんざさ・ら・しやくま・踊り子・太鼓・笛・歌い手の順に登場します。太鼓と笛と御詠歌に合わせ、浴衣にたすきがけ、白足袋に草履ばき、手甲姿に花笠をつけた踊り子が、身ぶり鮮やかに舞い、御霊に供養を捧げます。

御詠歌（念仏歌）

一 七月の舞

七月はものの哀れは月なれど野にも山にも立つぞ油火寺々の香り煙が天に上りて雲となるらん

二 二の谷の舞

これよりは南の二の谷に外輪をそろえて橋をかけ仏のかけたる橋なればお念仏なしでは渡られぬ

三 十六拍子の舞

今年はいく見えた総連寺四方の白壁杉の葉を杉には四十九を植えて混ぜて四十九の恵は皆六字五百羅迦に町が立つ何が笠売れるや商人の一に花立二に香炉三にしきびり花を売る即身成仏南無阿弥陀仏

四 終りの唱え

願似此功德 平等施一切同発菩提心 往生安樂国

最近気になる病気

「ポックリ病」

石岡市医師会病院
副院長 佐久間 晃医師



中学生のマラソン大会ゴール間近で倒れ、そのまま死亡。ゴルフ場で最終一メートルのバットを狙っているうち倒れ帰らぬ人となる。パチンコで「777」に入り無制限に出てくる玉を見ながら意識不明になり死亡。など、新聞でよくみかけることがあります。

次いで脳血管障害によるものが多く、脳動静脈奇形の破裂、脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血などが代表的なものです。

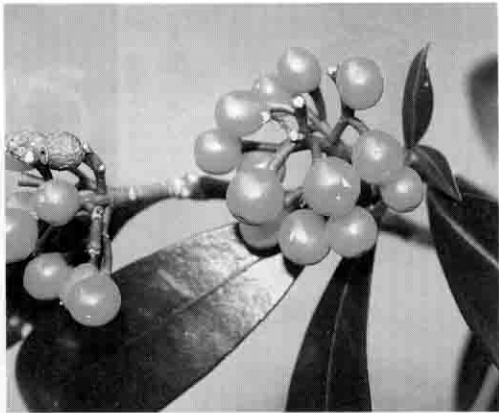
一見、健康そうにみえる若い男性が突然うめき声をあげ、手足を伸ばした形で死亡する奇病で「ポックリ病」と名づけられています。

ポックリ病の予知・予防・治療はいずれも難しく、一度発生すると予期せぬ出来事のため深刻な事態になります。予防として大切なことは、日ごろの自分の健康状態を十分に知っておくことであり、人間ドックないし、かかりつけの医師により、心電図、特に不整脈の有無、肥満度のチェック、動脈硬化の程度、コレステロールの値など理解しておく必要があるでしょう。できたら人工呼吸法、心肺蘇生術など知識として知っていれば最高です。

その原因は、いまだ不明な点が多く、誘因として過労、ストレス、自立神経・電解質の異常、ホルモン、アレルギーなどが考えられています。小児期、若年、壮年、老人などで発生原因に多少の差はあれ、いずれの年代にも、最も多くみられるのが心血管系の疾患によるものです。心臓の栄養をつかさどる冠動脈に何らかの異常が発生し、心筋への血液が止まってしまいます。

高齢化社会を迎え、日常生活も一人ではできなくなった老人の人口が増加しているのも事実ですが、皮肉にも予期せぬ突然死も少なからず増加しています。

あせらず、いらいらせず充実した毎日を過ごせたことを幸せと感じる生活をしていきたいものです。



八郷の自然

④

みどり生き生き

やぶこうじより葉も実も見事なのは、からたちばなである。百両金とも呼ばれている。まばゆいばかりの紅い実の数はやぶこうじの十倍ほどか、百両金

十両とも呼ばれた。多様な系統が育種され稀少なものは十両金の価値があり、やぶの名を嫌って十両とも呼ばれた。ムとなり、葉に模様があるもの、実の豪華なものなど

新春を呼ぶ、山里の紅い実もの

な千両とは全く別の植物で筑波山系の中腹より高い地域でよく見られる。庭園に多く、山麓の木陰などに自生も見られるのが万両である。紅い実が多いがまれに白い実もある。巨大な実で葉に変化のある園芸種がいくつか育成されている。実の数がこの仲間では

町文化財保護審議委員 軽部 豊

のネーミングにふさわしい豪華さだ。残念ながら八郷の自生地は広くない。実の数がもつと多いのが千両で、まれに黄金の実をつける系統もある。庭園で観賞されているが、自生地は八郷にはない。山千両と呼ばれ、実は千両より大きい常緑の灌木が山地にある。有毒植物のみやましきみである。安全

最多なので、万両と呼ばれたらしいが少しオーバーの感もある。次ぎのありどおしを含め、半日陰を好む。鹿島町の鹿島神社の境内に数多く自生していたのがありどおしで、八郷や千代田に稀にある。漢名虎刺の示すように小さい刺針がある常緑の小灌木で三十一センチの高さで上部が広がり、

紅い実はずやがある。移植困難で刺針のためか、園芸にはなじまない。実がなり

わたしの味自慢



柿なます

食生活改善推進員 金子瑞子 宮ヶ崎

材料

柿400g 大根400g ユズ30g 砂糖20g 塩少々 酢大さじ3

作り方

- ①柿は皮をむき、しん、種をとり千切りにします。
- ②大根も千切りにして、塩少々でもんでおきます。
- ③ゴマはするか、包丁できざみます。
- ④大根をよくしぼって柿と混ぜます。
- ⑤砂糖と酢で和え、ゴマをかけます。ゴマは、白ゴマの方がいろいろりがきれいでしょ。

八郷の名産、柿を使ってみました。



おが家CITY

杉山奈津希ちゃん

(柿岡)

父 勝美さん 母 美奈子さん
平成2年6月21日生まれ(長女)
♥家族からの一言

明朗活発でちよっぴりおてんば、泣き虫ですが絵本と童話がすきです。いつもマイクを持って楽しませてくれます。健康で思いやりのある優しい子に育ってほしいと願っています。

みんなの広場



月岡 萩原 志づ



小見 JMS君 (13)



「名前がなかったヨ」



柿岡 滝本 理恵 (11)



柿岡 高橋里美 (10)



柴内 関 聡子

私も ひとこと

息 子は、心身障害児で普通の幼稚園、保育園は無理（迷惑かと思）と考え土浦の施設に通園しています。

しかし、朝夕の送迎に往復で九十キロ。さらに土浦市の某機関から「土浦市の施設に入れてあげてやっている」と言われています。

八郷町にもそのような施設があればよいのにと考えています。新設が無理

習字コーナー

評 日本教育書道連盟審査員 岩波 芳水

小幡小一年 桜井 優美

小幡 藤田ももこ (六歳)

もん

テ

しっかりと書きぶり、名前もよくできました。

のびのびとしていて、とても上手に書けました。

なら現在の保育園の職員を増員し、障害児も受け入れてほしいと思います。

匿名

♣ 心身に障害をお持ちのお子さんの養育につきましては、多大なるご苦労をなさっているものと存じます。

厚生省では、そのようなお子さんのため、障害児保育、乳児保育、時間延長保育、緊急時保育を各市町村の責任において公立保育所で実施するよう指導を行っておりますが、これまでの保育所建設の際には、各市町村ともそのような考えをしておりませんでしたので、大部分が設備もなく専門の教育を受けた保母もいない状態です。また、障害の程度にもよりますが、一人のお子さんに一人の保母を張り付けなければ

ば危険が生ずることもあり、国・県の補助以外に、各市町村での負担がかなり必要になります。このためなかなか実施できない市町村が多いのが現実です。

当町でも、比較的軽度の障害のお子さんをお預かりした経過もありますが、保育所が八カ所に分かれている関係から、一所あたりの保母定員が少なく、障害児保育など特殊保育は困難な状況です。しかし、これからは、厚生省の指導方針もあり、これらの特殊保育事業に真剣に取り組んでいかなければならない時代になってきており、検討して行かなければならないと考えております。ご理解とご協力をおねがいいたします。

福祉課

フラワーパークの入場券
とふれあいの森乗り物券が
ペアで当たるよ

広報クイズ 58

3つの答えの中から正解を選び
ハガキに書いて送ってください。

①上曾のパラグライダーの基地が
ある山は？

(A)さんかくやま (B)きのこや
ま (C)どんぐりやま

②1月1日の八郷町の人口は？

(A)29,810人 (B)30,013人
(C)30,279人

③真家のみたま踊りはいつ行われ
ますか？

(A)お正月 (B)お盆 (C)節分
【応募の方法】

☆ハガキに広報クイズ58と書き、
答えの記号(例1-A)、住所、氏名、
年齢、世帯主と「私もひとこと」
へのご意見や広報の感想などを書
いて送ってください。イラストや
マンガも大歓迎。

☆全問正解者の中から10名に、フ
ラワーパークの入場券と今月から
ふれあいの森の乗り物券をプラス
してプレゼントします。

☆締切日 平成4年3月15日

☆応募先 〒315-01 八郷町柿岡
2009-3 八郷町役場秘書広聴課

☆当選者の発表 本紙3月号

【広報クイズ56の当選者の発表】

正解は1-B、2-B、3-Aでした。
応募36通、正解32通の中から次の
10名が当選しました。

鈴木幸恵(柿岡) 中村仁美(月岡)
富田静(下青柳) 安達一水(下林)
あらきみか(小見) 木村浩之(大
増) 駒場勇貴(吉生) 菱沼和行(月
岡) 関文枝(柿岡) 萩原志づ(月
岡)

=敬称略=



柿岡 鈴木 幸恵 (9)



吉生 駒場香央里 (9)



東成井 ラム

●やさと文芸

今月は選者の先生方の作品を介し
ます。皆さんの作品はお休みしま
す。皆さんの作品を紹介して行きま
すので、ど
うぞ応募ください。

百へ十四の初春迎え屠蘇に染まって見る鏡
老えるこの身を貰った親にご恩しみじみ掌を合はす
姿消えても心は遺る永い浮世の人の道

俚 謡 大木 嶺 月

布衣の身の暮らしに馴れて去年今年
布衣の身の机辺乱雑去年今年
いささかの年酒に酔ふて下戸かなし

俳 句 綿 引 鼓 峰

短 歌 吉 田 次 郎

を筑波はいつ仰ぎてもおぎろいなし老いて衰ふ我を勇むる
励まされいたはれつつまた一つ齢を重ねる我の今の幸
日の当る軒下に置く鉢の梅年の端にして匂ひたちたり



恋瀬川下流の「石瀨」には、今
も岩が残り、濃い緑色の水にさざ
波を立てている。(根小屋地内)

やさ
と
点
描

「まち」の「話題」で「き」ごと

身近な出来事や地元の
話題をおよせください
(連絡先・秘書広聴課 内線 一二三)

三世代でおモチつき

東成井小学校では、PTAの協力を得、ハアールの実習田で、田植えや稲刈りの体験学習を行っています。

このほど、この収穫祭をお父さんやお母さん、それにおじいちゃん、おばあちゃんを招き、三世代でおモチをついて祝いました。

当日は、全校生徒が交代でモチつきに挑戦、二俵半をつきあげました。つきあがったモチは、さっそくお母さんたちが、あんこモチやきな粉モチ、納豆モチに、全員で舌鼓みを打ちました。また当日は、おじいちゃんたちが、孫たちに地区に昔から伝わる豊年踊りを披露しました。

吉田次郎さん県芸術祭文学部門賞

広報やさと文芸欄で、短歌の選者をお願いしている柿岡の吉田次郎さんが、今年度の県芸術祭文学部門で茨城新聞社賞を受賞されました。

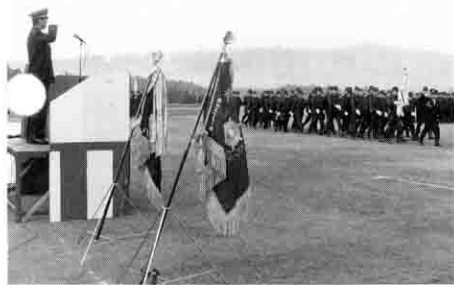
吉田さんは、現在茨城県歌人协会会长

日本歌人クラブ参与などを務められ、これまで、茨城県文学賞なども受賞されており、名実ともに県内歌壇の第一人者として活躍しています。

出初、町の消防力披露

新春恒例の町消防出初式が一月十日、総合運動公園で、町消防団、八郷消防署、少年消防クラブ、婦人防火クラブなどから関係者約六百人が出席して、行われました。

式典では、機械器具点検や模範操法・分列行進などが整然と行われ、また、町四十三台の消防自動車によるパレード、片野地内の水田での一斉放水と、町消防力を披露しました。



ときめき
ティータイム



成田純子(21歳・下林)さん

大きすぎる夢だけど、将来独立して自分の仕事をしたい。考え方のしっかりした男性が理想です。



ありがとうございます

- 柿岡保育所へ葉ホタン百本 柿岡 渡辺幸治
- 柿岡、小幡、芦穂、林保育所へ鼓笛隊用洋服 サンワ株式会社
- 柿岡保育所へビデオデッキ
- 芦穂保育所へテーブルクロス
- 園部保育所へビデオクロス
- 林保育所へ大太鼓

八郷町縫製組合



砂場をセラミックで抗菌コート

子供たちが大好きな砂場。今、この砂場が犬や猫などの糞尿によって、大腸菌の温床となっていることから衛生上非常に心配されていますが、町内八保育所では、このほど、抗菌効果のあるセラミックを砂場に混入しました。

このセラミックは、柿岡の桜本プラスティック工業と東京の(株)ユニチカリサーチラボが共同開発し、実際の砂場で

効果を調査するため、町の保育所に協力を依頼してきたものです。

セラミックの抗菌効果は、約三年間持続し、今後は、二、三ヶ月ごとに検査を繰り返して行くということです。

町保育所では、「これまでも犬などの侵入には苦慮してきたが、これにより安全な砂場で子供たちを遊ばせることができる」と喜んでいます。

公民館まつり盛大に

第十回公民館まつりが、十二月十三日の土曜日と日曜日の両日、盛大に行われました。

会場の中央公民館では、講座・同好会・地区婦人学級の作品展示や発表が行われ、講座生をはじめ一般の方々と賑わいを見せました。

現在、公民館では、二十の講座と十五の同好会が開講されており、皆さん熱心に学習しています。当日は、絵画や陶芸、七宝焼き、皮革工芸など、講座生の皆さんの作品を展示。また大講堂では、大正琴や大極拳などが披露され、公民館講座の一年間の成果が発表されました。



バウ賞、町から2団体が受賞

県が地域社会において、奉仕活動、共同事業、よい行いなどの行為をした団体や個人に贈るバウ賞ほう賞を、このほど、町から、小幡の鬼沢松枝さんと瓦塚保存会の皆さんが受賞しました。

鬼沢さんは昭和五十八年から現在にいたるまで十年間、町のお年寄りや地元

保育園児に手作りのくす玉を贈り続けています。その数年間約四百個、合計すると四千個にも上ります。

瓦塚保存会は、県指定文化財の瓦塚遺跡の保存と管理に努めています。昭和四十九年に発足、瓦会地区の五百二十世帯で組織されています。



小林恒吉さんご夫妻は、現在住んでいる八郷の地を終の住みかとして決めているそうです。四季折り折りに繰り広げられる自然の変化を身近に感じる時、なにも増してぜいたくな気分になるといいます。さらに、常日頃接している地域のかたがたは、人情味豊かで気を許せる人が多く、都市生活では味わえない鄙ひノのよさを満喫しているそうです。

総理府の「高齢期の快適性に関する世論調査」によると、約四分の三の人が高齢期の住まい選びは「豊かな自然」を重視しています。住む場所について、「自然の豊かな面」と「便利な都会的な面」のどちらを重視するかという質問では、74・7%が「自然」と答え、「都会的な面」の21・5%を大きく上回りました。高齢化社会がますます高まっていく中、恵まれた八郷の自然は都市生活者羨望の的とも受け取れる調査結果に筆者は驚きました。小林さんは「若いころは都市生活に憧れますが、年とともに鄙のよさが分かってくるものです」と。ちなみに筆者の娘二人は目下、都市生活を向です。(岡)

霞ヶ浦浄化を 積極的に推進しよう

霞ヶ浦は、富栄養化に伴う水質悪化により、さまざまな環境上の障害をもたらしております。町では県とともにあらゆる面での浄化のための取り組みを実施しています。農業者の皆さんも農業面からの霞ヶ浦浄化がさらに推進されるよう積極的な努力をお願いします。



町には霞ヶ浦にそそぐ恋瀬川と園部川がある。上流部に位置しているため、水質悪化の影響は少ないが、水質検査などをしてみると徐々に汚染されているのが分かる。

古くから霞ヶ浦は、大自然の営みの中で調和を保ち、人々に限らない恵みを与え、豊かな生活をもたらしながら固有の風土を生み、文化を育ててきた母なる湖です。しかし、この霞ヶ浦も、近年における著しい社会経済の発展に伴い、自然の浄化作用が破壊され、その水質は急速に悪化してきています。

とりわけ、富栄養化の進行は、さまざまな環境上の障害をもたらしており、このまま推移すると、将来、私たち及びその子孫の生活と生産活動が、重大な危機にひんすることは必至な状況です。

八郷町は、その霞ヶ浦にそそぐ恋瀬川と園部川の上流にあたり、あらゆる方面から水質浄化に努力し、なお一層の浄化対策を推進する必要があるとあります。

そこで今回は、農業面からの浄化対策を次のように取り上げましたので、みなさんの積極的な努力をお願いします。

(一) 水田・レンコン田の管理

① 土壌分析診断を行い、適切な施肥及び土壌管理を行う。

② 施肥は、肥料成分の流出しにくい側条施肥等の局所施肥や全層施肥等にする。

③ 肥料は、溶出抑制効果の高い被覆肥料等緩効性肥料を使用する。

④ 代かきのためのかん水はできるだけ少なくし、施肥直後は落水しない等の適正な水管理を行う。

⑤ 畦畔の保全を図り、水の使い過ぎを防止する。

(二) 畑・樹園地の管理

① 土壌分析診断を行い、適切な施肥及び土壌管理を行う。

② 良質堆きゅう肥の土壌改良資材を用い、深耕、イネ科作物との輪作を中心とした健康な土づくりを行う。



施肥部分の助成が受けられる施肥田植機

また、浄化効果の高い側条施肥田植機の導入を進めるため、次の特別助成事業を実施します。

施肥田植機導入促進特別助成事業

- ① 助成対象 農協及び営農集団
- ② 助成対象田植機 乗用であつて五条以上の施肥田植機
- ③ 助成金額 (本体の中に占める施肥部分取付費用の五〇%)

施肥部分取付費用の五〇%
五条施肥田植機 十二万円
六条以上施肥田植機 十五万円

④ その他 改良資金、近代化資金等との併用も可。転作達成者に限り該当します。詳しくは、役場農政課までお問い合わせください。